

THE WEEKLY REPORT  
2023-2024



世界に希望を生み出そう

District-2510 クラブの価値を高め 希望の種を蒔こう  
**TAKIKAWA ROTARY CLUB**

2023～2024年度

滝川ロータリークラブ

会長 鷲尾 昌法

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：takikawarc@gmail.com
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3396回 例会報告 令和6年5月19日（日）

会長挨拶



本日の例会は、恒例の観桜会です。観桜会といえばいつもマツオジンギスカンで、ほとんど桜が散っている、GW明けに行われていました。食べなれたジンギスカンですが、他にも刺し身や焼きガニ、ソバや寿司など豪華料理で、多くのメンバーが集い、ゲームやメンバーのバンド演奏を楽しんで、親睦が図れました。そんな中、今でも記憶に残っている驚きの観桜会は、2011-12年度の高山会長年度に、当時の西田親睦委員長が企画した、2両編成のお座敷列車でした。今は無きお座敷列車ですが、そんな例会をやってみたく、佐伯委員長が就任当時から言っていたのが、今日のバス旅行です。このような観桜会は12年振りの企画であります。どれだけの会員が参加してくれるのか、内容はどうか、心配事は色々ありましたが、理事会でGOサインを出しました。今日は参加者が少ないようですが、この責任は私にあります。しかしここで申し上げたいのは、前回のお座敷列車は、私にとりまして、後にも先にも、あれ1回こっきりですから、ロータリーに入っていなければ体験できなかったと思っています。列車からの風景は、車からとは違った趣がありました。富良野で団子やケーキの積み込みがあり、委員会の設えに驚きました。車両を行ったり来たりして、親睦も深まりました。滝川に近づくにつれ、名残惜しさを感じました。しかし今日は、バスの中の懇親会が目的ではありません。もちろんそれもありますが、酒蔵やワイン工場を見学したり、美術館やガラス細工作りの体験、祝津での食事などです。しかしそれらは、やろうと思えば家族でも、一人でも行くことができます。しかし、ロータリーの皆さんと体験できるのは、おそらく、これ1回こっきりで、貴重なものとなるのではないのでしょうか。一期一会、この言葉はおもてなしの精神を表す言葉です。この機会を一生に一度と捉え、できる限りのおもてなしをするという意味です。今日ご参加の皆さんの中には、委員会へのエールや友情を感じて参加していただいている方もいると思います。皆さん、今日は、委員会の皆さんが色々考えてくれたこの企画を大いに楽しんで、語り草にしようではありませんか。よろしくお願い致します。

前回のプログラム [ 観桜会 ]  
- 花より団子、ちょっとディープな小樽旅 -  
【親睦活動委員会担当例会】



8:30～「例会」8:50「三浦華園出発」10:50～「田中酒造・亀甲蔵を見学と試飲」11:50～「青塚食堂昼食・ニシンスペシャル定食」13:20～「小樽運河自由行動・サンドブラスト体験・似島美術館観賞」15:20～「北海道ワインを見学と試飲」18:30「三浦華園到着解散」18:45～「安着・希望者のみ山どり」  
親睦委員会の皆様、一年がかりでの準備を有難うございました。

小樽旅フォトパート2・スケジュール



編集後記：参加された皆さんは本当に楽しんでいました。その雰囲気に参加出来なかった皆さんに写真で伝えればと思います。またの機会がありましたら、より多くの皆さんと参加したいです。

今日のランチ



ニシン・塩辛・お刺身盛り合わせ  
ホタテの味噌汁・お漬物・佃煮  
ビール・ハイボール・日本酒

＼(^o^)／ニコニコBOX報告（敬称略）

鷲尾昌法・安達晃幸・飯島 望・猪巻弘行・神部俊克  
神部志乃信・佐伯敏和・桜井寿紀・篠島由一・西田浩二  
前野史賀・水原勝之・峯村征秀・山口洋史・山本康文  
渡邊要一郎・黒元利脇 <小計46,000円・累計1,756,000円>

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和6年05月21日

出席報告 5月19日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
81名	0名	7名	57名	24名	77%

- メクアツ：5/8 住吉会員 区社会奉仕委員会Zoom会議
- 5/18 入井会員 江差RC ロータリーの森への補植事業